

Mr. Samurai CALS/i バージョン 4.00.0006d

バージョン : 4.00.0006d 2018年9月

【 機能修正 】

- ・ライカのトータルステーションで、自動追尾が切れないように修正しました。
[対回RLLR]
- ・観測した野帳データを出力したファイルに不備がありましたので修正しました。
[任意出来形観測]
- ・観測した測点の任意断面を計算する時、断面位置の追加距離の計算で、不具合が発生する場合があったので、修正しました。

Mr. Samurai CALS/i バージョン 4.00.0006c

バージョン : 4.00.0006c 2017年7月

【 機能修正 】

- [路線 連続一連]
- ・任意点座標計算の逆計算で連続測距中に[戻る]をタップしてプログラムを終了すると、再度逆計算を行った際に誤差表示がされないことがあったのを修正しました。
- [逆計算]
- ・リモートキャッチャーを使用した連続測定のプリズムサーチ時に、サーチを2回行っていたので、1回に修正しました。
- ・リモートキャッチャーを使用してプリズムサーチをした際に、プリズムが見つからずにタイムアウトエラーとなった場合に、測定画面が表示されていたのを修正しました。

Mr. Samurai CALS/i バージョン 4.00.0006b

バージョン : 4.00.0006b 2017年5月

【 機能変更 】

- [リモートコントローラ]
- ・矢印旋回する機能については、スピードを初期値にするようにしました。
- [全般]
- ・プリズムサーチでタイムアウトした場合、光波の動作を停止するようにしました。
対応機種 : Leica(GeoCOM)
- [全般]
- ・自動追尾の開始でタイムアウトした場合、光波の動作を停止するようにしました。
対応機種 : SOKKIA(SRX)
- 【 機能修正 】
- [全般]
- ・プリズムサーチでタイムアウトした場合、自動視準がOFFになることがあったのを修正しました。
対応機種 : SOKKIA(SRX)
- [全般]
- ・プリズムサーチ等でエラーが発生した場合の表示方法を変更しました。

Mr. Samurai CALS/i バージョン 4.00.0006a

バージョン : 4.00.0006a 2016年12月

【 機能修正 】

- [逆計算 既知点2次 枠]
- [逆計算 任意点2次 枠]
- [逆計算 既知点3次 枠]
- [逆計算 任意点3次 枠]
- ・連続測距時に「ターゲットが見つかりませんでした」というエラーが表示されることがあったのを修正し

ました。

- [逆計算 既知点2次 ㊦]
- [逆計算 任意点2次 ㊦]
- [逆計算 既知点3次 ㊦]
- [逆計算 任意点3次 ㊦]

・IT-G500で連続測距中にオートパワーオフになった後、電源を入れ、測定を停止させるとアプリケーションエラーになることがあったのを修正しました。

[野帳観測 放射]

・座標管理に無い点を器械点や後視点に設定して測定すると、アプリケーションエラーになることがあったのを修正しました。

Mr. Samurai CALS/i バージョン 4.00.0006

バージョン : 4.00.0006 2016年11月 【 機能追加 】

[Samurai サーチ]

下記プログラムに、「Samurai サーチ」を実装しました。

※「Samurai サーチ」は、「CASIO IT-G500-WC06J」専用のオプションプログラムです。「CASIO IT-G500-WC06J」以外のハードでは、「Samurai サーチ」を使用することができません。また、オプションプログラムのライセンスが無い場合も、「Samurai サーチ」が使用できません。

「Samurai サーチ」を実装したプログラム

- ・野帳観測 放射、・座標観測 2次、・座標観測 3次
- ・逆計算 既知点2次 ㊦、・逆計算 任意点2次 ㊦
- ・逆計算 既知点3次 ㊦、・逆計算 任意点3次 ㊦
- ・任意出来形観測、・管理出来形観測、・監督検査現場立会
- ・各計算の逆計算、・路線の垂線計算の「観測点」

【 機能変更 】

[全般]

・リスト表示をIT-G500のワイド画面に対応しました。

[全般]

・プリズムサーチを中断できるようにしました。

対応機種 : SOKKIA (SRX)、Leica (GeoCOM)

[全般]

・測定を中断できるようにしました。

対応機種 : SOKKIA (SRX)、Leica (GeoCOM)

[座標観測 2次、座標観測 3次]

・視準点の測定後の確認メッセージに、座標値を追加しました。

座標観測2次の場合は、XY座標

座標観測3次の場合は、XY座標、標高

[座標観測3次、逆計算の既知点3次㊦、逆計算の任意点3次㊦]

- ・BM高を点指定できるようにしました。
- ・高さ測定後の確認メッセージに視軸高を追加しました。

[逆計算 既知点2次 ㊦、逆計算 既知点3次 ㊦]

[逆計算 任意点2次 ㊦、逆計算 任意点3次 ㊦]

[任意出来形観測、管理出来形観測、監督検査現場立会]

・測定時に鉛直角が正方向を向いているか確認するようにしました。

[逆計算 既知点2次 ㊦、逆計算 既知点3次 ㊦]

[逆計算 任意点2次 ㊦、逆計算 任意点3次 ㊦]

・「メニュー」の[旋回]に鉛直角の設定を追加しました。

・グローバルサーチで自動視準の時は、単回測距するように変更しました。

対応機種 : SOKKIA (SRX)

[リモートコントローラ]

- ・画面起動時にガイドライトをONにするようにしました。
- ・望遠鏡の旋回方法に「回転角」を追加しました。
- 「スピード」「回転角」の項目名をタップすることにより、モードの切り替えができます。

対応機種 : SOKKIA (SRX)、Leica (GeoCOM)、TOPCON (GPT-8000/9000)

・旋回の左ボタンを緑色に右ボタンを赤色に変更しました。

対応機種 : SOKKIA (SRX)、

[管理出来形観測]

・「メニュー」に「ターゲット」を追加しました。

・測定時にターゲットがプリズムでない場合にメッセージを表示して測定処理を中断するようにしました。

・「メニュー」に「旋回」を追加しました。

[監督検査現場立会]

・「メニュー」に「ターゲット」を追加しました。

- ・測定時にターゲットがプリズムでない時にメッセージを表示して測定処理を中断するようにしました。
 - ・グローバルサーチで自動視準の時は、単回測距するように変更しました。
- 対応機種：SOKKIA(SRX)
- 【機能修正】
- [路線]
- ・逆計算のビュー画面に、測定した位置が表示されないことがあったので、修正しました。
- [閉合トラバース]
- ・角度の補正量の分配方法を修正しました。
- [TS出来形]
- ・XMLファイルの開始主要点名称(StartElementPnt)、終了主要点名称(EndElementPnt)が空の場合でもエラーと判断ないようにしました。
 - ・XMLファイルの構築形状(BuildForm)の構築形状の識別名(name)が1つの横断面(XSection)で同一であってもエラーと判断ないようにしました。
 - ・縦断設計の直上がり、直下がりに対応しました。
 - ・横断面算出時に、設計ソフト側で設定した要素長を考慮するようになりました。
-

バージョン：3.10.0005a 2015年6月26日

- 【機能修正】
- [リモートコントローラ]
- リモートコントローラを起動する際に通信エラーになることがあったのを修正しました。
- [管理出来形観測]
- XMLファイルの管理断面情報に、目標座標名称が設定されていると断面位置が正しく表示されないことがあったのを修正しました。
- [管理出来形一覧]
- XMLファイルに計測点種別の同じ計測点セットが複数ある場合、観測数が正しく表示されないことがあったのを修正しました。
- [入出力]
- 同一点名を含む放射野帳観測をAPA観測ファイル書き込みするとエラーになることがあったのを修正しました。
- [入出力]
- 施工管理データファイルの読み込みで、緩和曲線長の長いクロソイドを含むファイルを読み込みできないことがあったのを修正しました。
- [入出力]
- 施工管理データファイルの書き込みで、計測点情報の標高値を小数点以下4桁で書き込むようにしました。
- [入出力]
- 施工管理データファイルの継続読み込みで、観測データが重複していない場合でも観測データが重複すると表示されることがあったのを修正しました。
-

バージョン：3.10.0005 2014年10月23日

- 【機能追加】※オプションライセンスご購入の方のみ
- [GNSS]
- GNSS座標観測2次・3次、GNSS逆計算2次・3次、GNSS通信条件設定を追加しました。
- 【機能変更】
- [逆計算-既知点2次 切]
- [逆計算-任意点2次 切]
- [逆計算-既知点3次 切]
- [逆計算-任意点3次 切]
- 測定結果を表示する時にビューを拡大するようにしました。
-

バージョン：3.00.0004a (2014年9月10日)

- ・[現場管理]平均縮尺係数の入力範囲を0.9999～1.0001に変更しました。
 - ・[逆計算][出来形観測]任意点での器械点計算に、縮尺係数を考慮するようにしました。夾角距離表示に、縮尺係数を考慮するようにしました。
 - ・[逆計算]オフラインの距離計算に、縮尺係数を考慮するようにしました。
 - ・[任意出来形観測]断面の表示が正しく表示されないことがあったのを修正しました。
-

バージョン：3.00.0004 (2014年6月20日)

- ・[バージョンアップ]公開開始。
 - ・[出来形観測]舗装工出来形管理に対応しました。
-

バージョン：

2.10.0003f (2014年3月28日)

-)
- ・[逆計算]連続測定中にBluetoothが切断し、再接続した時に通信を再開できないことがあったのを修正しました。
 - ・[管理出来形観測]施工管理データファイルの読み込みで、中心線形のない路線データを含むファイルの場合にはメッセージを表示して読み込みを中止するようにしました。
 - ・[任意出来形観測]任意出来形観測をした時に、断面等の位置が正しく表示されなかったことを修正しました。
-

バージョン：2.10.0003e (2014年1月22日)
・[任意出来形観測] 任意断面の作成方法を変更しました。

バージョン：2.10.0003d (2013年12月10日)
・[TS出来形] センターシフトのある断面で断面反転表示した場合に、測定結果が正しく表示されないことがあったのを修正しました。
・[管理出来形観測] 断面選択の画面で、未観測のチェックを外すとエラーになり、プログラムが終了してしまうことがありましたので修正しました。

バージョン：2.10.0003c (2013年10月29日)
・[任意出来形観測] 断面を反転表示した場合に、鉛直と水平の表示が正しく表示されないことがあったのを修正しました。
・[座標管理] キーボードの自動表示を「切る」状態の時に、座標登録の標高入力欄で、キーボードが自動表示されていたのを、自動で表示しないように変更しました。

バージョン：2.10.0003b (2013年10月28日)
・[TS出来形]XMLファイルの構築物種別が「河川・海岸・砂防土工」の場合、正しく断面を反転できていなかったのを修正しました。
・[設計データ確認]縦断設計データの断面表示が乱れることがあったのを修正しました。

バージョン：2.10.0003a (2013年10月15日)
・[出来形]卵型クロソイドが正しく計算されないことがあったのを修正しました。

バージョン：2.10.0003 (2013年9月24日)
・[バージョンアップ]公開開始。